



2026 年 9 月 1 8 日

日本鉄道労働組合連合会

J R グループ労組連絡会第 34 回総会 安全・安心で将来に希望が持てるJRグループを創造しよう

J R グループ労組連絡会は 8 月 28 日、大阪市内で第 34 回総会を開催し、向こう 1 年間の活動方針を決定するとともに、新たに岩田久氏（J R 西日本メンテック労組）を代表幹事とする新体制を確立した。

冒頭、幹事会を代表してあいさつした海上弓彦代表幹事（ジェイアール西日本伊勢丹労組）は、「安全の確立」「組織強化・拡大」「春季生活闘争」「政策課題の抽出と解決」について所信を述べ、「変えられる未来がある、変えていくための運動が必要だ」と強い思いを訴えた。

また、J R 連合を代表してあいさつした羽野敦之副会長（J R 西労組中央執行委員長）は、最近の J R 連合の取り組みを紹介するとともに、「J R グループ労組連絡会の強い絆を活かして、様々な課題解決に取り組んで欲しい」と期待を述べた。

その後、幹事会が提案した活動方針案に対し、3 名の総会委員



が「安全」「組織」「春闘」「政策」「財政」に関して発言し、住吉一家事務局長の答弁を経て全議案が満場一致で採択された。

分科会別討議で業種別の政策課題を抽出

総会の後に開催した分科会別討議では、9 つの分科会に分かれて「政策課題の抽出と解決」を行うべく議論した。J R 連合は、産別に加盟するメリットとして労使では解決できない課題の抽出と解決に取り組んでおり、各分科会からは税制・社会保障・各種法規制の見直しなど、様々な課題が報告された。



岩田新代表幹事 海上代表幹事